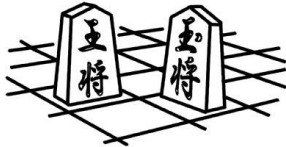




港区立高松中学校 学校だより<第5号>

令和2年 9月3日 校長 鋸持 利行

創立1949年(昭和24年) <高松中生のあたりまえ> 推進校 港区高輪1-16-25



## 頂の先へ(究極の集中状態とは)

校長 鋸持 利行

保護者の皆様、1学期に引き続き、2学期も、新型コロナ・ウィルス感染防止及び、その拡大のリスクを低減した上で、高松中学校の教育活動を進めてまいりますので、ご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今回の学校だよりでは、君たち中学生と同世代である棋士の藤井聡太さんについて書かせてもらいました。藤井聡太さんは、8月20日、第61期王位戦七番勝負で負けなしの四連勝で初の王位を獲得しました。新王位は、これまで数々の最年少記録を塗り替えてきました。14歳でプロ入り、15歳で初の棋戦優勝、17歳でタイトル棋聖戦挑戦と獲得。どれも快挙ですが、18歳1ヶ月での二冠達成は、その早熟さだけではない到達点の高さを示してくれました。やがて来ると言われていた「藤井時代」が、早くも幕を開けたと言ってもよいのではないのでしょうか。将棋界は一人の棋士がタイトルの過半数を独占し一時代を築いてきた歴史があります。戦後から1960年代は故大山康晴十五世名人、1970~1980年代は中原誠十六世名人(72歳)、そして、1990~2010年代は羽生善治九段(47歳)の時代でした。中でも、羽生九段は、25歳で史上初の全七冠(当時)を制覇。四半世紀にわたり頂点に君臨しました。すでに獲得してきたタイトルは99期にも達します。その絶対王者でさえ、二冠到達は21歳になる直前でした。成長途上の藤井新王位なら「空前絶後」と言われたその偉業に並ぶ、あるいは超えられるという期待も膨らんでいきます。

特筆すべきは中終盤での読みの速さと正確さ。詰め将棋というアナログな手法で基礎力を培い、それを人工知能(AI)を用いた研究で磨き上げ、時に、AIも瞬時には読み切れないような深遠な一手を放つ。「積んでいるエンジンが違う」と敗戦棋士の嘆息が、規格外ぶりを表しています。

通算タイトル獲得数99期、「史上最強棋士」の呼び声の高い羽生善治九段は「本当に深く考えられている時は、時間の観念がなくなる」と語っています。藤井新王位も「本当に集中できている時は、一分が長く感じる。あの一局もそうだった」。6月の棋聖戦五番勝負の第一局。最終盤で、藤井聡太さんは深い集中の海に潜っていました。約30手先に現れる局面で、自分の玉はぎりぎり詰みを逃れている。残り時間の秒読みの中でそれを読み切り、大きな一勝目を手にしました。私自身、『究極の集中状態』とは、いったいどんなものか考えさせられた一幕でもありました。皆さんが物事に集中できる時は、どんな時ですか。そんな集中できる時間を積み重ねていくことが、自分自身のさらなる成長につながるのだと思います。今後、藤井新王位が「次代の後継者」として、どのように歴史を切り開いていくのか、本当に楽しみで将棋界から目が離せません。

## 2学期の授業の様子

8月25日(火)、放送による第2学期始業式があり、26日(水)からは授業と給食活動が始まりました。



「国語」



「数学」



「理科」



「英語」



「美術」



「技術」



「家庭」



「学校図書館の様子」

## 3年美術作品



左:「ピクトグラム」の制作 ・ 上:消しゴム「スクラッチアート」の制作

## ～お知らせ～

○本校では、夏季休業日の直前より給排水管の改修工事を行っており、11月末までの工期に向けて順調に工事を進めております。8月24日(月)には3階から5階の各階の手洗い場に自動水栓が一部取り付けられ、その横には冷水器が設置されました。

○10月31日(土)に行われる高松体育大会に向けて、本日より実行委員会が活動を始めます。

○9月18日(金)、通知表を配付します。また、12月25日(金)には2学期末の通知表を配付します。

## ～スクールカウンセラーによる全員面接が始まります～

毎年、1学期に行っていましたスクールカウンセラーによる全員面接は、9月4日(金)～1年生、9月8日(火)～2年生が始まります。どうぞ、よろしくお願いいたします。また、全員面接とは別に、何かお困りになっていること、相談したいことがありましたらお気軽にご相談ください。

○区スクールカウンセラー 関 庸子(火曜日)

○都スクールカウンセラー 宇野 さやか(金曜日)